

竜舌蘭



学校だより
4月号
喜界町立早町小学校
令和7年4月23日発行

新たな船出の一日

校長 西島 常德
4月7日（月）に新任式、始業式、入学式が行われ、新年度がスタートしました。新任式では新たに2人の職員をお迎えし、子供たちと初顔合わせ。始業式では子供たちが今年度の目標を力強く発表してくれました。その後、楽しみにしていた担任発表。発表後は子供たちのほっと安堵の表情（と感じましたが…）が印象的でした。当日は天気も晴れて、入学式では、多くの御来賓と保護者、地域の方々の見守るなか、やや緊張気味の新一年生6人を無事に迎え入れることができました。新一年生はそれぞれ大きな返事をしたり、しっかりお辞儀をしたりと立派な態度で式に臨むことができました。新年度の始まりを全校児童が元気にスタートができたことを大変嬉しく思います。さあ、令和7年度「早町丸」の出航です。昨年同様、今年一年間、どうぞよろしくお願いします。

14年ぶりのチャレンジ

今年度は、早町小学校3・4年生が複式学級となり、複式学習指導が始まります。喜界町の小・中学校が再編されたのは平成24年ですが、それ以前の小規模校では、決して珍しいことではありませんでした。今年は学校再編から14年目になりますので、町内では実に14年ぶりの複式学級編制ということになります。

複式学習指導とは何でしょうか？簡潔に説明するとしたら、**2つ以上の学年（年齢）の児童が1つの教室で学習する教育方法**です。教師は1人でそれぞれの学年を時間差で行ったり、来たりと相互に渡りながら指導をしますが、広く複式指導の経験のある教師はあまりいないのが現状です。

早町小では今年度の複式学級を見据えて、令和6年度中に検証授業を行って研究を進めてきました。そこで、複式学級のメリットを私なりにまとめてみました。



【複式学習指導の様子】

- ・異なる学年での交流が生まれやすい。
- ・助け合う気持ちが生まれやすい。
- ・自主性や自立性が育まれる。
- ・行事での分担が多く、様々な体験ができる。
- ・上級生の勉強を知ることができる。

今、各学校の先生方は「学習者主体の授業」を目指し、学力向上に向けて取り組んでいます。複式学習は子供たちが主体となる場面が多くあり、自主的な対話や活動が必然的に生まれることから、「理想的な授業」に向けて大きなヒントがあるものと期待を膨らませているところです。



行事予定

夢育て強調月間		
1	木	PTA朝の登校指導
2	金	教育相談週間（全児童対象）（～9日）
9	金	歯科検診
10	土	第1回土曜授業 夢育て月間授業
13	火	心電図検査（1年）
15	木	PTA朝の登校指導
16	金	PTA歓迎会
20	火	交通安全教室
25	日	第1回PTA愛校作業

令和7年度入学式 入学おめでとう

今年度は、6人の新入生が入学してきました。少し緊張した面持ちで入場してきた新入生たちでしたが、名前を呼ばれると元気よく返事をしたり、来賓からの「おめでとうございます。」の言葉にしっかりと「ありがとうございます。」と返事をしたり、とても立派な姿が見られました。

1年生の皆さん、保護者の皆様、御入学本当におめでとうございます。今年度も職員一同、保護者や地域の皆様の御協力をいただきながら、62名の子供たちのために力を合わせて頑張ります。よろしくお願いします。



転入職員紹介

3月に3名の先生方とお別れして少し寂しさを感じていましたが、4月に入り2名の先生方をお迎えして、新年度をスタートすることができました。

- 植野 正俊 教諭
（喜界町立喜界小学校より）
- 清藤 利裕 事務主幹
（南九州市立額娃小学校より）

漢字能力検定

今年度から「漢字能力検定」の実施を6月に変更しました。

保護者や地域の皆様の受検も可能です。地域の皆さんで受検を希望される方は、一度学校へ御連絡ください。

早町小学校
☎0997 - 66 - 0004
担当：教頭

